



新しいまつもとクラフトのかたち。

長野県松本には「民・工芸」という、世界に誇るべき宝があります。しかしながら、バブル崩壊後の経済的な低迷や生活環境の変化により民・工芸品の使用頻度は下がり、民・工芸作家数も減少の一途を辿っています。後継者不足は深刻であり、このまま放置すると松本から「民・工芸」という宝が姿を消してしまうという危機感さえもあります。

歴史的な価値を持つ宝の可能性を追求し、「民・工芸」の魅力を知って触れ合える機会を創出することは、これからの民・工芸や松本のまちづくりにとっても素晴らしいことです。

まつもとフォーククラフトラボは、民・工芸品を新しい松本の「郷土ブランド」として輝かせる為の作り手とデザイナーが出会うプラットフォームです。

作り手

柳澤木工所
yanagisawa mokujo



松本に育まれた伝統の技術に根ざした木工を目指して、照明器具、器など、細線等のインテリア木工品の製造販売をしております。長年調製照明器具は古民家内生住宅の和風照明器具として、民芸家具に最も整合する照明器具として、和室、洋室を問わず、またレトロ照明器具としても様々な場所で採用されております。

www.mokko.co.jp

米澤ほうき工房
yonezawa houki kouhou



約150年の歴史を持つ松本産を親子3代に渡って制作されている米澤ほうき工房。2011年から事業を継いだ3代目宮藤（もとなお）さんとお父様の米澤謙吉（かつよし）さん、奥様の純子（じゅんこ）さんの3人でひろきコロシの栽培から、収穫、乾燥、製作と昔ながらのやり方で松本産を作り続けています。

藍染 浜染工房
aizome hamasen kouhou



松本の藍染めは、型染めを行う発酵が一部のみに留まっていたため乾り染めが大変でした。江戸時代の終わりに解禁され、明治の終わり頃まで盛んに行われていました。化学染料の普及とともに藍染めも徐々に衰退し、今では松本で藍染めを行っているのは、藍染 浜染工房の1軒となっています。反物、テーブルセンターなどが作られています。

http://isomehama.web.fc2.com

デザイナー

小林幹也
mikiya kubayashi



デザイナー / ディレクター
1981年東京都生まれ。2005年武蔵野美術大学工業デザイン学科卒業。インテリアデザイン会社勤務後、MIKIYA KOBAYASHI DESIGN 設立。家具、プロダクトからインテリアデザインまで幅広く携わり、国内外のクライアントとともにデザインを提案している。

www.mikiyakobayashi.com

辰野しずか
shizuka tatsuno



+art / プラスエスティー 代表
1983年生まれ。英国のキングストン大学プロダクトと家具科を首席で卒業後、デザイン事務所を経て、2011年「+st」を設立。家具、生活用品、ファッション小物のデザインを中心に、企画からディレクション、付随するグラフィックデザインなど様々な業務を手掛ける。

www.shizukatatsuno.com

リーフデザインパーク
Leaf.designpark



土野中史、内藤雄、本多進三郎、内藤雄穂の四人を中心に、日本を拠点にデザイン活動を行っているオフィスを設け、主な活動内容は家具、インテリア、プロダクト、アートワークと幅広く、それぞれ専門のアーティストや職人と連携することで、高いクオリティを保っています。

www.leaf-designpark.com

IFFT

Interior Lifestyle Living

MATSUMOTO FOLK CRAFT LABは、東京ビッグサイトにて行われるIFFT / interiorlifestyle living に出展します。

会期：2016年11月7日(月)～9日(水)

会場：東京ビッグサイト 東ホール

時間：10:00～18:00 (最終日は17:00まで)

小間No.I-205 一般社団法人松本青年会議所内